



行健小学校・行健中学校 通学路の合同点検



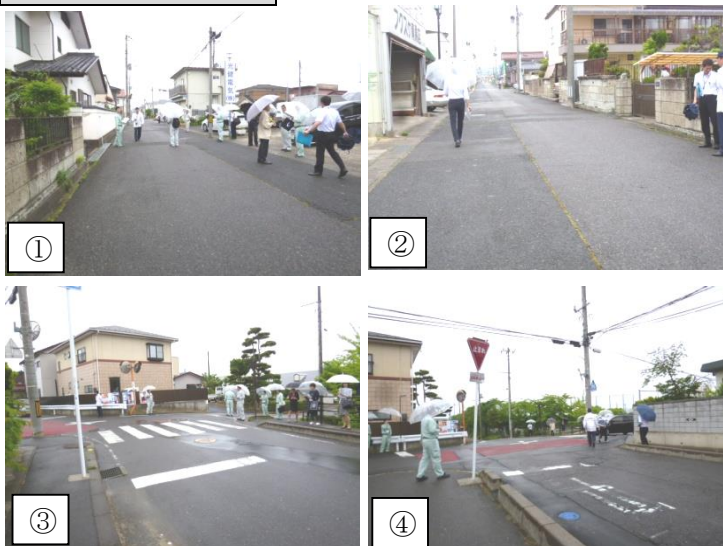
本市では平成24年度から、通学路の安全を確保し、交通事故を防止するために、国・県・市の道路管理者、警察、教育委員会、学校、PTA、地域の自治会連合会、交通安全関係団体等と連携して通学路の合同点検を行っています。令和元年度も危険箇所として各市立学校や地域の皆様からあげられた通学路の安全点検を実施しています。

日時：令和元年6月7日（金）

合同点検：午前7:20～午前8:15

対策会議：午前8:30～午前9:30

点検箇所



《行健小学校の通学路》

①②富久山町福原字鎌田・一里坦・猪田 地内

《行健中学校の通学路》

③④富久山町久保田字大原 地内



【対策会議：行健中学校】



合同点検終了後、行健中学校で対策会議を実施し、点検結果に基づきどのような対策を行うべきかについて協議しました。各関係者は協議内容を踏まえ、今後実施可能な対策を行い、児童生徒の通学路の安全確保を図っていくことが確認されました。

対策案

【行健小学校点検箇所の対策案】

- ① 「外側線の設置」
- 「グリーンベルトの設置」
- 「防犯灯の設置」
- 「送迎ルールの周知」等

【行健中学校点検箇所の対策案】

- ② 「カラー舗装の復旧」
- 「送迎ルールの周知」等



※今回検討された対策案については、本年度中に内容を取りまとめ、方法や予算等について計画します。次年度以降、実施可能なところから対策を進めてまいります。

国道や県道に隣接する行健小学校、行健中学校の学区は、狭い通学路においても通過車両（抜け道利用）の走行が多く、その対策が大きな課題になっています。

はじめに点検が行われた行健小学校の通学路（箇所番号①②）は、見通しの良い直線道路のため、多くの車両がスピードを出して通行しています。また、歩道と車道を分ける外側線が設置されていないことから、子ども達の歩くスペースが明確ではありません。

対策会議では、ドライバーに減速を促し、安全な歩行スペースの確保に向けて、外側線やグリーンベルト（歩行部を緑色に塗装する）の設置について検討されました。

続いて行健中学校では学校北側に面する通学路（箇所番号③④）について点検が行われました。道路には30キロ規制（時速30キロ以下で走行）が設置されていますが、速度を出して交差点に進入する車両も見られることから、対策会議では、交差点への注意喚起に向けて路面標示の設置やカラー舗装の補修について検討されました。

ご家庭でも通学路の危険箇所についてお子さんと一緒に話し合いいただき、『自分でしっかり安全確認』する習慣を身に付けるようご指導、ご協力をお願いいたします。

ドライバーの皆さん、
子ども達に優しい運転を心がけてくださいね！

